

事務事業評価の評価結果について（平成26年度の事業に対する評価）

河芸総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
河芸・地域振興課	地域かがやきプログラム事業（河芸総合支所）	地域を担う人材育成を図るとともに、地域住民主体による事業展開を行い、地域の活性化をめざします。	イベント等の参加人数	地域を担う人材育成と地域住民主体の事業展開をめざすことから、イベントや教室・講座の参加人数を指標とします。	5,200人	5,100人		実行委員会等で計画・運営され、事業の目的はほぼ達成されています。	3	多文化共生推進事業については、語学指導や教育支援は概ね計画どおり実施し、研修会も今までの学校関係者から地域住民対象に移したことにより、地域全体の理解を深めることができました。「ふれあいネットワーク事業」についても更に参加者を増やすために啓発活動に努めます。スポーツレクリエーション大会事業やフェスタinかわげについては、地域の認知度も高まり、ほぼ達成されているものの、魅力ある事業を継続するために、地域に密着した住民主体の事業展開が求められます。特産品開発事業については、「道の駅」の進捗状況に合わせて、地元での知名度向上など、継続した努力が求められます。	現状維持	住民ニーズや地域の課題に対し、地域社会を担う多様な人材育成を図ります。スポーツ大会やイベントを開催することにより、施設及び地域資源の有効活用を進め、地域住民の交流や健康増進を図ります。河芸地区特産品開発事業については、平成26年度で終了しますが、「道の駅・津かわげ」の開駅に向けて、地域の特産品としての確立やPRに努め、引き続き地域の活性化につなげていきます。
河芸・地域振興課	地域インフラ維持事業（河芸総合支所）	道路、河川、公園及び交通安全施設等の維持補修に係る地域住民からの要望等に対し、迅速かつ柔軟に対応し、課題を解決することを目指します。	要望に対する迅速かつ柔軟な対応の推進	道路、河川、公園及び交通安全施設等の補修に係る要望等に対し、対応方法を迅速かつ柔軟に検討し、修繕等により、早急に課題解決を図ります。			地域住民からの要望（インフラ整備・補修）に対する迅速かつ柔軟な対応の推進	優先順位の高い事業については、迅速かつ柔軟な対応ができました。	4	道路、河川、公園及び交通安全施設等の維持補修に係る地域住民からの要望等に対し、89件については迅速かつ柔軟に対応することができました。	拡充・充実	自治会等の要望事業を全てを解決することができませんでしたが、少しでも多くの事業の早期解決に努めます。
河芸・地域振興課	地域インフラ補修事業（河芸総合支所）	道路、河川、公園及び交通安全施設等の維持補修に係る地域住民からの要望等に対し、迅速かつ柔軟に対応し、課題を解決することを目指します。	要望に対する迅速かつ柔軟な対応の推進	道路、河川、公園及び交通安全施設等の補修に係る要望等に対し、対応方法を迅速かつ柔軟に検討し、原材料を活用した技能員による直営作業により、早急に課題解決を図ります。			地域住民からの簡易な修繕や補修など要望等に対し、原材料を活用し、技能員等による直営作業にて、迅速かつ柔軟な対応の推進	地域要望に対し、迅速な対応ができました。今後も一層の迅速かつ柔軟な対応に努めます。	4	地域住民からの簡易な修繕や補修の要望等に対し、原材料を活用し、技能員による直営作業にて、574件の事業に対して迅速かつ柔軟な対応ができました。	拡充・充実	平成26年度の実績を踏まえ、より一層迅速な対応が図れるよう努めます。
河芸・地域振興課	地域情報発信事業（河芸総合支所）	地域住民の活動の推進のための啓発活動の一環として地域の話題を中心とした地域だよりを発行します。	地域情報誌の発行回数	地域住民活動の推進のための啓発活動の一環として、地域の話題を中心とした地域だよりを発行します。	4回	4回		地域情報誌「かわげだより」を年4回発行することができました。	4	地域の話題を中心とした地域だよりを発行できました。	現状維持	地域に密着した地域だよりを発行できるように努めます。
河芸・地域振興課	体育館管理運営事業（河芸総合支所）	スポーツを通じて、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	運動施設利用者数	市民の健康づくりや競技力の向上のため津市河芸体育館の利用者数を指標とします。	44,757人	42,927人		利用者数も40,000人超で安定してきたので、利便性の向上に努め、利用人数が向上するようにします。	3	引き続き施設の適正な維持管理を行い、利用者数の増加を目指します。また、目標値については、前回の目標値44,757人したいと思います。	現状維持	今後も限られた予算の中で、効果的な維持管理を行うと共に更なる職員の接遇向上を図り、利用者数の増加を目指します。

河芸総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
河芸・地域振興課	グラウンド管理運営事業（河芸総合支所）	スポーツを通じて、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	運動施設利用者数	市民の健康づくりや競技力の向上のため、津市河芸第1グラウンド、津市河芸第2グラウンドの利用者数を指標とします。	41,000人	38,792人		合計利用者数は対前年度比で96.3%と若干の減となりましたが、使用料収入は連日のサッカーの利用が増えたことの影響で対前年度比13%増となりました。	3	引き続き施設の適正な維持管理を行います。第2グラウンドの利用者数は、サッカーによる稼働率が非常に良く、利用者数増加が見込める状況です。 目標値については、前年度実績を上回るような数値を指標とします。	現状維持	今後も限られた予算の中で効果的な維持管理を行うと共に職員の接遇向上と利便性の向上を図り、利用者数の増加を目指します。
河芸・地域振興課	テニスコート管理運営事業（河芸総合支所）	スポーツを通じて、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民の健康づくりや競技力の向上のため津市河芸テニスコートの「利用者数」を指標とします。	6,300人	6,430人		利用実績では、横ばい状態ですが安定して利用されています。	3	昨年度に不具合のあった箇所も修繕が済み、苦情がなくなっていますが、ネット等の消耗品の劣化が激しいので状況を把握していく必要があります。	拡充・充実	今後も限られた予算の中で、より効果的な維持管理を行い、利用者数の増加を目指します。
河芸・地域振興課	その他運動施設管理運営事業（河芸総合支所）	スポーツを通じて、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	個人利用者数	市民の健康づくりや競技力の向上、マレットゴルフ普及啓発のため、「個人利用者数」を指標とします。	10,000人	9,654人	個人利用者数の増加	個人での利用人数は、実績人数の10%にも満たない状況です。 他県の同施設と比較すると、使用料が格段に高い（1回500円で市外在住者は倍額）ことが伸び悩みの原因と思われる。	2	利用者のほとんどが、従来からのマレットゴルフ愛好者かつ年間券所有者で占められており、個人利用者数は非常に少なくはなっています。愛好者からは、個人利用料金が以上に市外利用者の料金が2倍の設定では利用者の増加は見込めないとの声が多数寄せられているため、料金改定などを検討していく必要があります。 ただし、施設維持管理頻度は他の施設よりも格段に高くなっている。	拡充・充実	今後も限られた予算の中で、より効果的な維持管理を行い、利用者数の増加を目指します。
河芸・市民福祉課	社会福祉施設等管理運営事業（河芸総合支所）	住民の福祉の増進並びに健康保持及び健康意識の向上を図り、利用者の福祉向上を図るための施設維持管理及び利用者の自主的な福祉活動の振興を図ることを目的とします。	利用者数	地域住民のため、福祉向上及び自主的な福祉活動の振興を図るため「利用者数」を指標とします。	19,500人	18,498人		各種福祉団体、ボランティア団体が積極的に行事等を計画し広く参加者を募って利用者の福祉・文化教養等の増進を図ることができました。しかし、昨年度に比べ一般貸館利用者が減少したことにより目標値には至りませんでした。 今後はさらに適正な施設設備の維持管理を継続し、利用者数の増加に努めます。	3	目標値は達成できませんでしたが、前年対比で利用率は増加し、施設利用者の福祉、文化教養等の増進を図るための事業推進ができました。また、施設利用者の満足度の向上にも努めました。	現状維持	「津市河芸ほほえみセンターの設置及び管理に関する条例」に基づき事業を推進するとともに、老朽化に伴う施設の修繕を行いながら、施設利用者の環境を整備し快適な市民生活に寄与していきます。